

課題名	脳動脈瘤治療における直達手術、血管内治療のそれぞれの侵襲に関する検討
承認番号	2022-10 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 脳神経外科部 氏名 豎月 順也
研究期間	(西暦) 2022 年 7 月 ~ (西暦) 2023 年 3 月
研究の意義・目的	<p>本邦の死因第 4 位となる脳卒中において、くも膜下出血は特に重症となることが多い疾患です。その原因となる脳動脈瘤の治療にはクリッピング術をはじめとする直達手術とコイル塞栓術をはじめとする血管内治療が行われます。</p> <p>近年、血管内治療の進歩により、本邦での脳動脈瘤治療件数は血管内治療が直達手術を超えるまで増加してきています。しかし、動脈瘤の形態や周囲血管との関係から、直達手術の良い適応となる症例は一定数存在し、今後も直達手術の需要は存在し続けると考えられます。その一方で、経験症例数や手術技術伝承などに関して課題が存在します。</p> <p>当院での 2018 年 4 月以降の脳動脈瘤手術症例を検討することにより、それぞれの治療法に適した症例の特徴を見出し、脳動脈瘤治療成績の向上を目指します。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	2018 年 4 月～2023 年 3 月に当院で脳動脈瘤手術を行った入院患者さんに関して、年齢、性別、併存疾患などの患者背景や動脈瘤(局在、大きさ、ブレブ、dome/neck 比等、周囲血管との関係)、治療法(クリッピング/コイル)、治療転帰(modified Rankin scale)、合併症などを後方視的に検討します。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供される場合はその 方法を含む)	<p>研究用の番号を付与し、個人が特定できる情報とは切り離して管理するため、氏名等の個人が特定される情報は匿名化します。</p> <p>学会発表や論文により院外へ公開する場合でも、個人が特定されることはありません。本研究で収集したデータは、本研究にのみ使用します。</p>
利用又は提供する 試料・情報の項目	年齢、性別、動脈瘤局在、動脈瘤大きさ、動脈瘤形態的特徴、動脈瘤と周囲血管との関係、治療法、30 日後 modified Rankin scale、90 日後 modified Rankin scale、治療合併症の有無
試料・情報を 利用する者の範囲	当院脳神経外科医師(研究責任者 豎月 順也)

試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	脳神経外科部 氏名 豎月 順也
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 脳神経外科部 氏名 豎月 順也 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101